

自然を取りもどすために

海に近寄れる場所が少なくなったり、下水処理されていない水で海の水が汚れたりして、海を取り巻く環境がだんだん悪くなってきました。そこで、これではいけないと、失った自然を取りもどすために、いろいろなことがはじめられました。

●海の近くに公園をつくる

わたしたちがもっと海に近づいたり、親しんだりできるように、工場の跡地や港の近くに海が見える公園や散歩道などをつくっています。



あまがさき もりちゅうおうりよくち
尼崎の森中央緑地イメージ図

●海水浴のできる砂浜をつくる

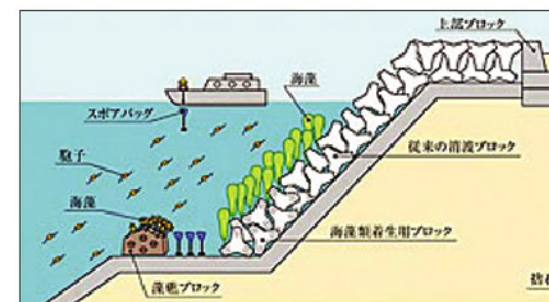
昔の砂浜を取りもどそうと、大阪湾のあちこちでやせ細った砂浜に砂を入れて広くしたり、人工の砂浜をつくったりしています。



みなみはま かいすいよくじょう
りんくう南浜海水浴場(サザンビーチ)

●魚のすめる場所をつくる

港の岸壁の傾斜をゆるくして、そこに石を積んだり並べたり、藻などの海中の植物を繁殖させ藻場をつくったりして、魚がすみやすくなるようにしています。



かんさいこくさいくこう きくこうしま
関西国際空港2期空港島



そだ も ちぎょ
育った藻とメバルの稚魚

●生きもののすめる干潟をつくる

人工の干潟をつくり、稚魚やカニ、貝など干潟の生きものがすめるようにしたり、野鳥が集まってくるようにしています。



じんこう ひがたじつげん かんさつ
人工干潟実験区で観察されたハマシギ



はんなんこうはんなんく じんこう ひがた
阪南港阪南2区の人工干潟